

クスノキ通信

NPT再検討会議ニューヨーク行動報告会

「成果文書」の採択はできなかったが、行動は無駄ではなかった、今後も奮闘する(佐藤団長)

五月二四日(日)の午後広島市内で、NPT(核不拡散条約)再検討会議ニューヨーク行動報告会が開かれました。広島県原水協から参加した六人(佐久間邦久団長)が参加、建交労全国青年部長の広島県本部書記次長武田喜成君も参加し報告しました。会場いっぱい六〇人が参加、報道陣も大勢参加しました。以下は、報告会での武田書記次長の報告を中心に記載しました。

保有国と非核保有国との溝の深さ感じた(武田氏)

今回のNPT再検討会議は、「核兵器使用をちらつかせるロシアによるウクライナ侵攻は四年を超え、追い打ちをかけるように米国・イスラエルとイランの



写真上は、ニューヨーク到着の翌日の街頭パレードに参加の武田君(現地は4月26日)とニューヨーク行動報告会で報告の武田君(5月24日広島市内)

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
〒七三〇八五三
広島市中区堺町一丁目一九三〇三
TEL(〇八二)二三五三〇〇五〇
FAX(〇八二)二三五三〇〇五二
e-mail
ctg303.hiroshimagorange.plala.or.jp

戦闘も勃発。過去に例がないほど厳しい状況で開かれた会議(中国新聞)でした。核保有国と非核保有国の主張は激しく対立しました。

日本の役割は大きい

建交労の武田書記次長は「会議を傍聴したが、核兵器を減らすという議論があまりなかったように感じる。保有国と非保有国との溝の深さを感じた。これまで対話と協議をどれだけやってきたのだろうかと思った。NGO団体の意見を興味深く聞いた。日本の果たす役割は大きいと思つた」と発言しました。

マムダニ市長と懇談

また武田書記次長は、ニューヨークのメーデー集会に参加、今年選挙で勝利した民主的社会主义者のマムダニ市長が連帯挨拶をしたことやマムダニ市長と懇談したことを報告。また自動車関連の労働組合と交流会を行ったことも報告、「闘うことの重要性を学んだ」と報告しました。

核禁条約に日本政府

を参加させよう

また団長の被団協の佐久間邦久理事長は「成果文書は採択されなかったが、今回のNPT行動は無駄ではなかったと思う。再検討会議は続けるべきだ。日本政府の役割は大きいと思う。核兵器禁止条約に日本政府を参加させるためにも日本の政治を変えないといけない。NPTを形骸化させてはならない、そのためにも核兵器禁止条約の参加国を増やしていかないといけない」と強調、今後も核兵器廃絶に向けて奮闘することを表明しました。

NY行動経過について

- 四月二五日 アメリカへ出発
- 四月二六日 パレード集会他
- 四月二七日 会議の傍聴(午前と午後)
- 四月二八日 会議の傍聴(午前と午後)
- 四月二九日 四団体イベント 会議傍聴(午後)
- 四月三〇日 レイバーノーツとの交流会ほか
- 五月一日 メーデー参加
- 五月二日 自由行動
- 五月三日 日本へ出発

徒然草

「世界に平和と繁栄をもたらすのはドナルド、あなただけです。諸外国に働きかけてしっかり応援したい」。三月のトランプ大統領との日米首脳会談で、イランに先制攻撃を仕掛けた当事者にそう言うのけた高市首相。賛否を呼んだこのフレーズ。普通に解釈して、トランプ政権のイランへの先制攻撃を支持していると思われる◆アメリカとイランの戦闘が一時的に戦となつて一か月以上になろうとしているが、依然として戦争終結とはなっており、トランプ大統領は今月一四日には中国の習近平国家主席と会談を行った。しかし両者ともお互いを褒めたたえたが、戦争終結にはつながる会談とはならず◆ひるがえって高市首相、日本とイランとは、さして外交トラブルがあるわけでもない。歴史的にも外交チャンネルはちゃんどある。ナフサ不足は、医療や建築関係のみならず、食品関係でもカルビーのお菓子袋にも厳しい影響が出てきているほど。まさに国民の暮らしを守る政府の外交力が試されているのではないかと◆しかしアメリカのトランプ政権に付度するばかりでイランとの独自外交を見せる動きは全く見えない。トランプ政権の顔色をうかがう従属政権に成り下がっている◆防衛予算はGDP(国内総生産)の2%とこれまでの二倍とし、武器の輸出を全面解禁し、日本を武器商人国家に進め、「スパイ防止法」の制定や憲法九条を改正を推し進める高市政権は即刻退陣させる以外にない。(M)

「働く者の団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」

第97回メーデー集会開かれる

働く者の祭典・メーデー今年には97回目です。

広島県中央メーデーは、一小时前から、中区ハノーパー庭園で開かれました。

三〇〇人以上が参加、主催者あいさつに立った実行委員会代表委員の寺本和男、ヒロシマ労連議長は「今年度予算は、軍事費9兆円を突破。安保三文書の改訂、非核三原則の見直しの表明、そして、殺傷兵器の輸出全面解禁を閣議決定した。戦争のない世界をつくるという平和憲法をないがしろにする蛮行。こうした危険な動きに今国民が立ち上がり始めている。『戦争反対、憲法守れ』と、今まで集会やデモに参加したことのない



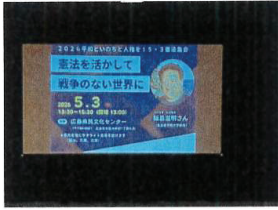
建交労の仲間 (5月1日)

人々を含めた運動が全国に広がっている。今、ニューヨークで(NPT)再検討会議が開かれ、私たちの代表団も参加している。戦争への道を止め、平和をつくるのは私たち、世界の労働者と連帯し、くらしと経済でも、平和と政治の課題でも、闘いを大きく前進・飛躍させよう」と呼びかけました。

静かに広がる「戦争・九条改悪反対」の運動

今年の五月三日(憲法記念日)は、世界で戦争がまだに続いている、そして国内では、「戦争国家づくり」をめざす、自民と維新の会の高市連立政権が、「スパイ防止法」制定や「国旗損壊罪」の制定、そして憲法改正(九条改悪)を前のめりで推進しようとする情勢の中で迎えました。

広島の五月三日の「憲法集会」は県民文化センターで開催され、五五〇人が参加、名古屋学院大学の飯島慈明教授が「憲法を活かして戦争のない世界に」と題して講演、高市政権の進める憲法に反する政治について厳しく批判しました。「デモカレンダー」に連帯しての、四月一九日の中区本通りでの集会には市民三〇〇人以上が参加しました。(写真は憲法集会)



NPT再検討会議参加の報告や、ハロワークアンケート結果から働かなくて生活できない高齢求職者の実態などを報告し要請・懇談

中国地協が中国市長会に要請

五月二一日(木)に中国市長会春季総会が下関市内のホテルで開催されたのに合わせて建交労中国地協(議長・山室まこと島根県本部委員長)として要請行動を行いました。

今回の要請には、広島、島根、岡山、山口県本部から五人が参加、広島県本部から山田昭夫委員長、武田喜成書記次長が参加、NPT再検討会議ニューヨーク行動に参加した武田書記次長は「核保有国と非保有国との溝は感じるが被爆国日本の果たす役割は大きいと感じた」などと話しました。山田委員長は、「ハロワーク前アンケート広島」の取り組みの結果について報告しました。山室議長は生活困窮者自立支援の内容や問題点など報告しました。

井原健太郎会長(柳井市市長)は、「要請内容は参加者全員に渡します。皆さんも政府に要請の折には要請してください」と述べました。



中国市長会の井原健太郎会長(写真右側)に要請書を手交する山室まこと建交労中国地協議長(5月21日下関市グランドホテルにて)

今後の組合行動日程など

- 五・二八 建交労中央執行委員会 (〜二九日)
- 広島高齢期運動連絡会総会 (二・三〇〜いきいきプラザ)
- 六・六 広島県本部執行委員会
- 六・一〇 広島労職支部執行委員会
- 六・一四 エバー運輸企業組合総会 午前一〇時〜正午まで (呉市広まちづくりセンター)
- 六・一九 広島ビックアクションデー (最賃宣伝・座り込み)
- 六・二〇 NPT再検討会議行動報告会 (建交労青年部主催・一三時三〇分・広島市ひと・まち市民交流プラザ)
- 六・二〇 広島県労連評議員会 (一三時三〇分ロードビル)
- 六・二七 ダンプ企業組合理事会
- 七・一五 事業団・高齢者中国ブロックキャラバン(七月一三日島根からスタート〜一六日岡山)

お知らせ

※県本部の「クスノキ通信」は毎月一回発行しています。各支部や職場でのホットな話題や取り組みなど、身近な話題を、「メール」やファクスでお寄せください。メールとファクスは以下の通りです。お待ちしております。

ctg303.hiroshima@orange-plala.or.jp
Fax 〇八二一三三三〇五二